

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！10月末時点で、第3期生1名が北海道特派員として海外で活動中、第4期生1名が海外留学中です！

○令和3年度 みらチャレ第4期生を決定しました！

令和3年度「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を活用して留学する助成対象者（第4期生）を決定しました。

今年度の留学の取扱いは、国においてワクチン接種や保険加入等の安全対策を図った上で、外務省海外安全情報の感染症危険レベル2、3の国への一定の留学（①海外大学の学位取得を目指す留学、②大学間交流協定に基づく9カ月以上の留学）の支援再開を踏まえ、北海道未来人材応援事業も国の取扱いに準じて支援することとしています。

学生留学コース ○テーマ スポーツで北海道の子どもを元気に、北海道全体の活性化へつなげる

○留学先 オーストラリア（受入機関：Sports Victoria(ビクトリア州のスポーツ促進機関)ほか）

○留学期間 4ヶ月間

○留学目的 オーストラリアの子ども向けスポーツプログラム運営方法等を学び、本道の子どもをスポーツで元気にする活動を目指す



小樽商科大学 学部3年
大久保 辰哉

文化芸術コース ○テーマ 北海道とポーランドの架け橋となる音楽家となるため、ポーランドの音楽や文化を学ぶ

○留学先 ポーランド（受入機関：国立フレデリック・ショパン音楽大学大学院）

○留学期間 2021年10月～ 12か月間

○留学目的 ポーランド国立ショパン音楽大学大学院修士課程でポーランド音楽の研究と質の高いピアノ演奏技術を得得し、本道とポーランドの架け橋となり世界に通用するピアニストの育成等を目指す



北浦 由花里

【第4期生の海外留学の状況】

- ・学生留学コース：大久保辰哉さん → 留学を延期（留学先のオーストラリア《感染症危険レベル2》は入国制限中）
- ・文化芸術コース：北浦由花里さん → 令和3年10月下旬から留学（ポーランド《感染症危険レベル3》の国立ショパン音楽大学院（修士）へ学位取得のため留学。

北浦さんの活動の様子は今後、毎月お知らせしますので、皆様の応援をよろしくお願ひいたします！大久保さんにつきましては、コロナの感染状況等を見ながら留学可能な状況になりましたらお知らせします。

○第4期生北浦由花里さんが留学前に道庁を訪問しました

10月末に留学先のポーランドに向けて出発するみらチャレ第4期生（文化芸術コース）の北浦由花里さんが10月22日（金）に道庁を訪れ、留学への抱負を述べました。

北浦さんは、「このような状況で多くの方から御支援いただいていることに感謝しています。ポーランドでは、私自身の音楽家としての資質を高め、帰国後は北海道で後進の指導に努め、北海道から優秀な音楽家を輩出する活動を行いたいです。」と話していました。

応対した小玉副知事から「ポーランドでの実りある活動を期待しています」と激励の言葉を伝え、留学先で北海道の魅力をもPRする「北海道PRアンバサダー証」を交付しました。



○北海道特派員レポート！ ～支援終了後に海外・道外で活躍する基金生の活動を紹介します～

リスト音楽院の修士課程2年生としての新学期が始まりました（第3期生文化芸術コース清水柚衣さん）

慌ただしかった夏休みが明け、修士課程2年生としての新学期が始まりました。

イタリアのコンクールでは、たくさんの仲間がで、普段のレッスンだけではなかなか経験できない刺激や緊張感を得られ、大変貴重な経験になりました。

また、デブレツェンで開催されたマスタークラスでは、Tóth Péter氏の作品を演奏し、ソロではGábor Farkas氏のレッスンを受講しました。大曲の中での感情表現や細かなコントラストの付け方、曲に対しての解釈等について多くのアドバイスをいただきました。

新学期からは師事する先生が変わり、まだまだ慣れない毎日を送っていますが、在ハンガリーの日本企業主催の菊の奨学金という制度に合格し、支援をしていただけることになりました。これまで以上に一層努力し、より深い学びができるよう頑張ります。



9月末にはリスト音楽院からのMüza Rubackyté氏のマスタークラスを受講しました。女性ピアニストのレッスンを受けるのは久しぶりで、より効果的な体の使い方、キャラクターの変化の付け方など、私にとってはとても新鮮なアドバイスが多く、これからの演奏に活かせるよう、自分に合った形を再考して行こうと思います。

ここ数ヶ月の間はリスト国際コンクールを聴きに行ったり、今年からソロのレッスンでお世話になる先生であるLászló Borbély氏のコンサートを聴きに行ったり、多くの刺激をもらっています。

清水 柚衣さん 第3期生(文化芸術コース)

留学先：ハンガリー

留学期間：令和元年9月～令和4年7月(予定)

留学概要：音楽に溢れた北海道づくりを目指すため、リスト音楽院で著名なピアニストのレッスンを受講し、演奏技術の向上と知識を高める。



「Hokkaido Study Abroad Program」で留学体験を講演しました

令和3年9月10日(金) (室蘭会場) 及び10月19日(火) (札幌会場) に道教育委員会主催の「Hokkaido Study Abroad Program」(道立高学生の北海道大学への派遣・交流事業) が開催され、みらチャレ第3期生(学生留学コース)の有働篤人さん(北海道大学情報科学院)がフィンランドでの留学体験を講演しました。



新型コロナウイルス感染症の影響で、2会場ともオンラインによる開催でしたが、有働さんは、みらチャレによるフィンランドでのゲームコンテンツ制作に係る留学体験や留学を通して学んだこと、インターンシップ先企業での活動などについて全編英語で講演しました。

参加した高校生からは、「とても興味深い話で留学したくなった」という感想や、「日本人とフィンランド人の(性格)違いは?」、「フィンランドで驚いた体験は?」など積極的な質問が寄せられ、有働さんからは、この留学の経験を活かして、札幌でゲームクリエイターとして世界を見据え日本のゲーム業界を盛り上げていくため活動していくこと、失敗を恐れずにチャレンジして欲しいことなどをメッセージとして伝えていました。

「ほっかいどう未来チャレンジ応援募金」を実施しました

8月30日(月) から9月30日(木)までイオン北海道(株)様の御協力をいただき、「ほっかいどう未来チャレンジ応援募金」を道内のイオングループ店舗・事業所167箇所で開催いただきました。



この募金は、2018年から毎年度実施いただいております、今回で4回目の実施となりました。

集まった募金は、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に全額御寄附いただき、今後の若者の海外挑戦を支援する事業に大切に使用させていただきます。

ティッシュを買って北海道の若者の海外挑戦を応援!

10月1日(金)から大王製紙(株)様の御協力をいただき、北海道限定販売商品「エリエール北海道ティッシュなまらたっぷり」の売上げの一部を「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に寄附いただく取組を行っています。



大王製紙(株)のグループ会社、赤平製紙(株)で製造されているこの商品は、従来の150組5箱というパッケージから倍増した300組5箱という文字どおり「なまらたっぷり」入ったティッシュとなっており、北海道の若者の海外留学を通じた未来へのチャレンジ(みらチャレ)を応援するパッケージデザインと北海道の食の名産品をふんだんにあしらったパッケージデザインが特徴です。北海道の若者の海外挑戦を応援するため、ぜひ皆様お近くのスーパー、ドラッグストア等でお買い求めください。

応援パートナーの皆様

(2021年10月現在・敬称略)

武田 孝 有末 真哉 石川 諭史 井上 幹士 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 鈴木 伸明 船津 秀樹 山田 義勝
他匿名希望の個人・企業7者

北海道総合政策部地域創生局地域政策課
TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-1053
E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp
ホームページ : <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/mirai-jinzai.htm>



公式 Facebook ページ
みらチャレ
基金生のチャレンジ風景をお届けします。